

2023年5月30日

**アメリカ教育学会**  
**会報第50号 (2023 No.050)**

発行／アメリカ教育学会事務局

E-mail : jaaes.since.1989@gmail.com

**[contents:2022年度臨時理事会報告、代表理事挨拶、第35回大会案内]**

**－ 2022年度 臨時理事会報告 －**

2022年度の理事選挙結果を受け、2023年3月18日(土)に、Zoom会議にて臨時理事会が開催されました。そこで、新代表理事および、第35回大会の開催校が決定されました。新代表理事の決定に伴いまして、今年度の総会にて会員のみなさまに学会組織等をお諮りすることとなります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

**－ 代表理事挨拶 －**

会員の皆様におかれましては、日頃より本学会の活動にご理解とご支援をいただき誠にありがとうございます。

昨年に実施の役員選挙とそれを受けての開催の臨時理事会におきまして、思いもかけず本学会の代表理事を拝命しました。大変微力ではございますが、前代表理事の八尾坂修会員また前事務局のみなさまの実績を継承し、本学会の円滑な運営と組織体制、若手研究者に魅力的な学術活動の環境整備など、本学会活動のますますの発展に尽くしていく所存ですので、どうぞよろしくお願ひいたします。

本学会は1989年に設立されました。今年で35年目を迎えます。その設立の趣旨には「アメリカの教育に関する専門的・学術的知見を結集し、その知見を広く公にすること」とありますが、そのモチーフとなっているのが、アメリカの教育が伝統的に民主主義の理念とその理念に基づく民主的な社会の構築を追求し続けている(はずだ)という強い信念かと思われまます。本学会の設立に加わった諸先輩方は、大変な苦勞をされて先ずは現地に赴き、アメリカ教育の最前線を紹介されてこられました。しかし、アメリカ社会の光と同時に陰の部分に論評を加えることも忘れませんでした。実際、アメリカ社会は多様性と極端な格差化の様相をもち、ときには人間の「根源悪」を見せつけるなど、一義的な解釈を許さない社会です。

ただしそれでも同時に、このような民主主義の危機には直ちに声を上げその克服の可能性を探究し続けるという健全さも持ち合わせています。20世紀は「アメリカの世紀」だと言われましたが、21世紀において民主主義をめぐる「実験」は新たな様相を呈し始めたようにも思えます。私たちにとっても引き続き探究すべき課題かと思えます。

他方、周知の通り、今年は生成AIの潜在性と可能性が人口に膾炙した特筆すべき年となるかも知れません。「アメリカ教育に関する専門的・学術的知見」の結集と公表も、凡庸なデータの蓄積と解析、その再構成に過ぎないのであれば、生成AIがよりスマートに代行してくれる時代がやってきました。しかし、生成AIには、私たちを突き動かすもの、観念(アイデア)の力はありません。少なくとも観念を生み出すのは私たちだと思います。進化する生成AIとうまく共生しつつも、引き続き民主主義の理念を探究すること、会員の皆様の協働において継続できるよう願ってやみません。

さて、本ニュースレターにご案内の通り、本学会の第35回大会の開催は、関西学院大学の宮本健市郎会員にお引き受けいただきました。宮本会員をはじめ、大会準備委員および関西学院大学の関係者の皆様にはご理解とご協力を賜りありがとうございます。本大会は5年ぶりの対面での開催となります。多数のご参加を宜しくお願いいたします。

最後になりましたが、4月より新事務局体制に移行しました。黒田友紀会員には前年度まで事務局の業務を担当されておりましたが、新たに事務局長をお願いしております。これまでと同様に、会員名簿管理、経理、紀要編集と刊行、HPの更新など、円滑な遂行に努めてまいりますので、引き続き皆様のご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

代表理事 松下 晴彦 (花園大学)

### — 第35回大会案内 —

アメリカ教育学会第35回大会は、11月11日(土)に、関西学院大学上ヶ原キャンパスにてオンライン開催の予定です。2019年は台風襲来のため、2020年から2022年まではコロナ禍のため、現地開催ができませんでした。会員の皆さまが、会場で直接に顔を合わせるのには、実に5年ぶりです。午前中に自由研究発表(現地開催のみ)、午後に、総会(オンライン併用)、公開シンポジウム(現地開催のみ)です。(理事会については学会事務局より別途連絡します。)

プログラムの概要は、次頁にあるとおりです。公開シンポジウムでは、深刻さを増しつつある環境問題に、学校教育はどのように対応すべきかを、話し合ってみたいと考えています。自由研究発表の募集は、6月1日から開始します。多くの会員の皆さまのご発表とご参加を心よりお待ちしております。

第35回大会準備委員会

委員長 宮本 健市郎

※第35回大会の案内、発表申込、参加申込につきましては、大会ホームページからとなります。

大会ホームページ(URL): <https://www.jaaes.org/taikai2023/>

(学会ホームページの「大会情報」からもアクセスできます。)

大会専用メールアドレス: [JAAES2023kwansei@gmail.com](mailto:JAAES2023kwansei@gmail.com)

## ◇大会概要

1. 日程 2023年11月11日(土)

2. 会場 関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス G号館

### 3. 自由研究発表申込

- ・個人発表は、報告20分と討議5分です。共同発表は、報告40分と討議10分です。
- ・大会ホームページから発表申込をしてください。
- ・発表申込の受付期間は、6月1日から8月10日です。
- ・8月12日以後に、大会準備委員会から受付完了の通知を発信します。
- ・同時に、発表要旨集の原稿提出要領を発信します。
- ・発表要旨集の原稿提出期限は、10月10日を予定しています。
- ・8月10日までに、2023年度会費の支払いを済ませておいてください。

### 4. 参加申込

- ・大会参加費  
会員・非会員とも2,000円  
学生(大学院学生を含む)は1,000円
- ・大会プログラムは、9月10日ころ、PDF版を配信します。紙版はありません。
- ・できるかぎり10月31日までに、大会ホームページから参加登録をしてください。  
登録された方に、発表要旨集(PDF版)をメール等で送付します。

### 5. 大会日程(若干変更される可能性があります)

- 9:30— 受付開始
- ①10:00—12:00 自由研究発表(現地開催のみ)
- ②12:00—13:00 昼食休憩
- ③13:00—14:00 総会(オンライン併用)
- ④14:10—16:40 公開シンポジウム(現地開催のみ)
- ⑤17:00—18:00 情報交換会

### 6. 昼食

上ヶ原キャンパスにある生協は、例年、土曜日にも営業しています。  
また、キャンパス近くにコンビニがありますので、ご利用ください。

### 7. 情報交換会

参加費:1,000円程度(現地支払い、軽食のみ、アルコールなし)  
※状況により、中止の可能性もあります。

## 8. 公開シンポジウム

テーマ：アメリカの環境教育の歴史と現状と課題：学校教育に何ができるか

### 【趣旨】

環境問題が深刻さを増している。環境汚染、生物多様性の危機、地球温暖化、巨大ハリケーンの襲来など、人類は存続すら危ぶまれる状況に直面している。「持続可能な開発目標 (SDGs)」や「持続可能な開発のための教育 (ESD)」が注目されるようになってきているのは、危機感の現れといえるが、それが状況の改善に必ずしもつながっていない。地球温暖化はとどまりそうになく、それどころか、SDGsは、「目下の危機から目を背けさせる効果しかない。…苦悩を和らげる大衆のアヘン」(斎藤幸平)と断言する人もいる。環境問題は次の世代になるほど深刻さを増す。したがって、次の世代を育てることに取り組んでいる現代の教育者は、子どもがよい環境の中で生きていけるようにするために、その責任を果たさなければならない。

では、私たちは次の世代にどのような環境を残そうとしているのだろうか。本シンポジウムでは、アメリカにおける環境教育の歴史と現状を紹介し、現代における環境教育の課題について議論してみたい。

広大で豊かな自然に恵まれたアメリカは、フロンティアを開拓しつつ国家を作り上げた。自然は克服の対象であった。トランプ前大統領がパリ協定から離脱したことに見られるように、自然は利用すべきものであって、環境問題を軽視する考え方は、いまでも国内には根強くある。その一方で、自然保護のための運動は、アメリカでも19世紀から始まっていた。1872年に世界最初の国立公園法が制定され、その後、自然や動物を保護しようとする市民運動は、20世紀になると徐々に高まっていった。

この二つの方向を、自然を利用するか、保護するか、という二者択一思想としてとらえてはならない。自然のなかで、人間がどのように生きていくかという課題とつなげて考えなければならない。それは、環境倫理ということになるであろう。学校教育のなかで環境倫理がどのように構想され、教えられてきたのか。その歴史と現状と課題について、アメリカの環境教育に関心を向けている3名の研究者から問題を提起していただく。それを起点として議論を深めていきたい。

### 【提案者】

荻原 彰 (京都橘大学)	学力重視の教育改革と環境教育
加藤 智 (愛知淑徳大学)	総合的な学習の時間と環境教育
宮本 健市郎 (関西学院大学)	環境教育の起源としての自然学習

### 【司会】

大倉 健太郎 (武庫川女子大学)  
湯藤 定宗 (玉川大学)

## －事務局より－

### ◆会費納入について

本年度（2023年度）の会費につきましては、5月下旬に郵送にてお知らせと振込払込票を送付しております。「年会費納入状況のお知らせ」を同封しておりますので、年会費の納入状況をご確認下さいませ。本学会の諸事業は、みなさまの会費を財源として行われております。ご協力のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。会費納入についてご不明な点がある方や、受領証などが必要な方は、学会事務局までメールにてご連絡くださいませ。

※2017年度会計年度より、会費年額6,000円（学生会員は5,000円）となっております。

### ◆会員の情報の変更・更新のお願い

所属やメールアドレス等の会員情報に変更があった会員は、当学会ホームページより「会員情報変更届」をダウンロードしていただき、アメリカ教育学会事務局へE-mail（あるいは郵送）にてお知らせください。

当学会は、ペーパーレス化を進めております。そのため、学会事務局からの連絡につきましては、2016年度より各会員に登録いただいたメールアドレスへメール配信による一斉配信をしております。会報につきましても、2019年度より学会MLにてご案内をしております（会報は、従来通り、学会ホームページにも掲載しております）。メールアドレスを登録しているのに学会事務局からのMLのメールが届いていないという方は、学会事務局までご連絡くださいませ（「迷惑メールフォルダ」に学会MLのメールが届いている場合がございます。ご確認くださいませと幸いです）。

### ◆学会ウェブサイト・ブログURLのお知らせ

アメリカ教育学会では、各種情報をウェブサイト及びブログで情報発信しております。ぜひご覧くださいませようお願い致します。

アメリカ教育学会ウェブサイト：<http://www.jaaes.org/index.html>

アメリカ教育学会ブログ：<http://blog.livedoor.jp/jaaes/>

### 【お問い合わせ先】

アメリカ教育学会事務局 E-mail：[jaaes.since.1989@gmail.com](mailto:jaaes.since.1989@gmail.com)

※学会事務局住所が変更しました。

〒274-8501 千葉県船橋市習志野台 7-24-1

日本大学理工学部 一般教育 黒田友紀研究室 気付

以上